
殺人犯と婦警の恋

ざらめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人犯と婦警の恋

【コード】

N0017P

【作者名】

ざらめ

【あらすじ】

殺人犯と言っても、業務上過失致死ですので……。シリアスではないですよ。

(前書き)

登場人物

矢野 航：長身。業務上過失致死で、服役していた。
上田 優子：婦警。正義感が強く、思いやりがある。

俺はついさっき、刑務所から釈放された。あそこに入ったのはいつだっただろう。罪状は、業務上過失致死。当時トラックの運転手をしていた俺は、深夜、道路にヨロヨロ出てきた酔っぱらいを、轢いてしまった。

そして俺は今、やることもなく、公園のベンチに座っている。

「お姉さん、あのボール、取ってー。」

小さな男の子の声がした。見ると、5歳位だろうか。男の子が、近くの女の人に、木の上のボールを指差しながら話しかけている。女の方は、ボールを取ろうとしているが、後ちよっとの所で届かない。俺は立ち上がり、木の上のボールをひょいと取って、男の子に渡してあげた。

「おじさん、ありがとうー。」

男の子はそう言うと、駆けて行った。

「おじさんかよ。」

俺が呟くと、女の方はクスクス笑って言った。

「多分、私の方が年上だと思いますけど。失礼ですが、おいくつですか？」

俺と女の人（名前を優子というらしい）はその後、1時間ほど話していた。メールアドレスも、交換した。

そして、俺が一番恐れていた話題になった。

「航さんは、何をしていらっしやるんですか？」

「えっと……。」

俺は返す言葉に困った。初対面の女性に、服役していたなんて言うのは、絶対にNGだ。

「トラックの運転手です。」

とっさにそう言った。俺が服役した事情を知っている、服役する前に勤めていた会社の人なら、また雇ってくれるだろう。という事で、

俺の第二の就職先は、早くも決まった。

「へえ。私は、婦警をやっているんです。」

俺は、一瞬ギクリとした。だがすぐに取り繕った。

「そうなんですか。かっこいいですね。」

「ありがとうございます。」

その日を境に、俺達は付き合い始めた。

「一年後」（航は予定どおりの就職をして、優子と楽しい日々を送っている。）

ピロピロピロピロピロピロピロピロピロ

ケータイが鳴った。

「はい、矢野です。」

「もしもし。航？」

「あつ優子。どうした？」

「ちょっと話があるんだけど、今夜いつものレストランで会える？」

「うん、大丈夫だけど・・・。」

「じゃあ、7時ね、バイバイ。」

俺は、なんだか胸騒ぎがした。

俺がレストランに行くと、優子はすでにいた。

「あつ優子。話って？」

「まあ、先になんか頼も。」

優子は、なんだか元気がなかった。

料理が来ると、優子は話始めた。

「私、今日、ある事件の犯人を探すために、時原刑務所へ行ったの。」

俺は、少しギクリとした。時原刑務所とは、俺が入っていた刑務所なのだ。

「それで、今までに逮捕されて、釈放された人のデータを見ていたら・・・航の名前があったの。」

俺は、絶望した。婦警である優子に、服役していた事を知られたら、必然的に一緒にいられなくなる。

「航、刑務所に入ってたの？」

「あ、ああ。」

「どうして今まで話してくれなかったの？」

「だって、優子、婦警だし……。」

「最初に話せばよかったじゃない！」

「でも、そんな事言ったら、絶対引くし……。」

「私は、一番最初に、航が子供に優しくしてるのを見た！過去の事で、人を決めつけるなんて事、私はしない！しかも、業務上過失致死でしょ！？別に引いたりなんかしないわよ？」

優子は泣いていた。

「じゃあ、もし俺があの時優子に打ち明けてたとして、今、俺達はこうなってたか？」

「うん、今打ち明けたとしても、航から離れて行ったりしない！これから、ずっとずっと、そばにいる！」

優子は言い切ってから、顔を赤らめた。

「プロポーズ……か？」

「そ、そうね。」

「じゃあ。返事はもちろん、Yesだ！優子、愛してる。」

「航……。」

「ほら、料理冷めるぞ！早く食べよう。」

「うん！」

そして俺達は、その二月後に、結婚した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0017p/>

殺人犯と婦警の恋

2011年10月8日01時22分発行